



学校だより

教育は愛

令和6年8月28日発行
さいたま市立本太小学校
Tel 048-882-3007
<http://motobuto-e.saitama-city.ed.jp>
e-mail motobuto-e@saitama-city.ed.jp

校長 千葉 裕(ちば ひろし)

◆ メークドラマの2学期が始業！

今日から2学期がスタートしました！

夏休み中、子どもたちは、旅行、キャンプ、登山、海水浴など、貴重な体験をして、数多くのことを学んできたことと思います。

表題の「メークドラマ」は、長嶋茂雄終身名誉監督が、1996年に巨人を大逆転Vへ導かれた時のキャッチフレーズです。

2学期は、修学旅行、舘岩少年自然の教室をはじめとする校外学習、運動会、音楽会など、子どもたちの感動的なドラマがメークされる1年間の中で最も華やかな学期です。

子どもたちの思い出に残るような素敵なドラマを紡げるよう、2学期も本校の教育活動を力強く推進してまいります。

今学期も保護者・地域の皆様から変わらぬご理解とご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。



◆ 子どもたちの心のケアを大切に！

夏休み明けは、生活リズムと健康だけでなく、子どもたちの心もしっかりとケアすることが重要です。

夏休み中に、生活に大きな変化があったご家庭、けがやトラブルに見舞われてしまったご家庭など、子どもに心へのケアが必要だと思われる場合には、速やかに担任までご連絡・ご相談ください。

ご家庭としっかり協力をしながら子どもたちの心に寄り添っていきたいと思います。

◆ 朝食と挨拶をしっかりと！

生活リズムを整えるために、朝食はしっかりと食べることで、朝の挨拶をしっかりとすることをお勧めします。朝食は体と頭を目覚めさせ、朝の挨拶は、一日の意欲にスイッチを入れます。一日の生活に勢いをつけるためにも朝食と挨拶の励行をお願いします。

◆ 夢を育てる！～ パリ五輪から ～

男子グレコローマンスタイル77キロ級の日下尚選手は2000年生まれ。その年のシドニー五輪女子マラソン金メダリストの高橋尚子さんにあやかって尚と命名されたそうです。優勝インタビューで、高橋選手と同じ金メダルを獲得した感想を問われると「夢を見ているようです。最高に楽しい6分間でした」と満面の笑みで答えます。高橋さんのシドニー五輪での名言、「すごく楽しい42Kmでした」を、24年後のパリ五輪、レスリングの世界で再現してくれました。

また、開閉会式で旗手を務めたブレイキン男子の半井重幸選手は3位決定戦で敗れ「より輝いた姿を見せたかった」と悔しさを言葉にされましたが、「ブレイキンに出会ったことで、僕の人生がいい方向に生まれ変わった。その稲妻を一人でも多くの人に、特に次世代の子たちに見せて、モチベーションを与えられたら、僕はすごく幸せ」という素敵なコメントを子どもたちにプレゼントしてくれました。

子どもたちの感性は柔軟で吸収力があります。きっと、今回のパリ五輪で様々な想いや夢をキャッチしたのではないのでしょうか。

私たち大人の役割は、その夢を大切に育ててあげることだと思います。

今日からパリ2024パラリンピックが開会されます。こちらも目が離せません！



◎「未来社会に向けて、シン化し続ける本太小学校！」～すべては、未来社会を生き抜く子どもたちの幸せのために～